

発行:小杉町3丁目東地区市街地再開発準備組合理事会

平成21年1月16日

新年を迎えて

新年、明けましておめでとうございます。

昨年は、事業区域の検討、専門コンサルタントの選定を行い、具体的な計画案づくりに着手することができました。

今年は、施設計画の中身を検討する大切な時期になると思われます。都市計画決定に向けて着実に歩みを進めていきたいと考えております。

小杉の街の姿も、新しいマンションの入居が始まり、徐々に変わってきております。

社会経済情勢は極めて厳しい環境ですが、こんな時こそ確実な事業を行うために、皆で知恵を出し合って、小杉に相応しいまちづくりを実現したいと考えております。

皆さまの更なるご協力をよろしくお願いいたします。

理事長 角川 榮喜

京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター の見学会が開催されました

平成20年12月5日(金)に京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンターの現地見学会が開催され、28名が参加されました。

京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター(SC)は、京王線で多摩川を渡ってすぐの駅に直結しており、都心から少し離れているという立地の点、それまでに商業集積があまりなかった地区に商業集積を実現していることなどから、当地区の類似事例として、見学先に選びました。

地区の見学にあたり、京王電鉄SC営業部の方から施設の概要に関する説明をしていただきました。



■聖蹟桜ヶ丘SCとその周辺

聖蹟桜ヶ丘SCは、A、B、C館で構成され、A館は京王ストア、京王アートマン、B館は京王百貨店及びファッション専門店街、C館はレストラン街です。A館とB館の間を京王線が通っており、4、5、7及び8階のブリッジで両館が繋がられています。

ペDESTリアンデッキ（歩行者用デッキ）で、ザ・スクエアやOPAが入居するヴィータ聖蹟桜ヶ丘など隣接する商業施設と接続されています。

■特徴

まち全体としての集客をはかることが、個々の商業施設の集客にも繋がることから、次第に認識され、共同で広告をうつなどの集客力を向上させる試みがなされています。

親子プログラムや社会貢献PRなど多種多様なイベントを開催することにより、地域との密着度を高め、顧客を取り込む試みがなされています。

化粧室のデザイン性を高めるなど、広い視野から顧客満足度を高める取り組みがなされています。

環境配慮型の空調システムを取り入れるなど、時代のニーズにマッチした施設づくりが行われています。

■参加された方々の感想より

「地域全体の発展を前提とした活動に力を入れていることについて、大変参考になった。」

「小杉駅周辺においても、各再開発街区で限られたパイを奪い合うのではなく、地域全体の魅力上げてパイを大きくするために、各商業施設間の連携や共存共栄を検討していく必要があると感じました。」

などの感想をいただきました。当地区だけではなく、隣接する他の地区と連携し、“まち全体の魅力”を高めていくことが必要だと感じました。



京王電鉄SC営業部の方による説明



京王アートマンは大型雑貨店



屋上のフットサルコート
(屋上も収益を上げる床に)

事業の現況について

昨年11月から12月にかけて、権利者の方々に個別ヒアリングを実施させていただきました。ご協力ありがとうございました。伺いましたご意向をもとに、施設計画案づくりを進めてまいります。

また、既にご案内いたしておりますが、施設計画案を作成するための現況測量調査に1月15日より着手しております。